

平成30年度予算の概要

平成30年度は、「将来構想策定会議」のビジョンに基づき取り組む事業及び創立90周年記念事業を推進する年度です。

事業計画は、私学を取り巻く環境が厳しさを増す中での実施、財務基盤の確立に向けた資金投入となることから、中長期計画における事業実施の意義を明らかにし、過年度実施事業の検証と収支計画を確認した上で、経営戦略上、真に必要な事業に限定し、単年度収支を勘案して予算措置を行いました。

予算編成方針は、①収入に見合った支出予算編成とする。②基本金組入前当年度収支差額黒字編成とする。以上を骨格として、編成及び収支改善に全教職員連携して取り組むこととしました。

以下、理事会・評議員会の議を経て承認されました平成30年度の事業計画予算及び事業活動収支予算について、概要をご報告します。

[事業計画]

教育、研究、診療の環境整備に関することにおいては、(1)教育活動を高めるための環境整備(全14事業)①御井学舎LL教室他設備整備②医学情報教育用システム更新③附設ICT教育環境整備他(2)研究活動充実のための環境整備①基礎3号館設備整備②私立大学研究ブランディング事業(3)診療活動充実のための環境整備(全14事業)①更衣棟建築事業②救急診療のためのドクターカー更新③医療センター画像診断装置更新他(4)省エネ対策及び施設設備の適正な維持管理に係る改修事業

以上、事業計画に係る予算総額は29億8千万円となりました。

[事業活動収支予算の状況]

事業活動収入計の570億8千4百万円から、事業活動支出計の570億4千1百万円を差引いた基本金組入前当年度収支差額は、4千3百万円(事業活動収入に占める比率は0.1%)となり、29年度予算比で7百万円の増となります。

経常収支差額は△2億6千万円となり、29年度予算比4億7千4百万円(64.6%)回復見込みで、教育活動収支の改善計画が主因です。収入では人間健康学部設置後の学年進行等を要因とする学納金の増と、大学病院の医療収入で増を見込んでいます。支出では医療経費増を見込むものの、その他経費では、既存予算の見直しを行い収支均衡に取り組み、全体予算の増加を抑制しました。基本金組入額は事業計画に基づき26億6千万円としました。

以上のように、予算編成方針、各部門の計画に基づく予算編成を行いました。収支改善の取り組みを継続し、教育・研究・医療の充実に邁進する所存です。